

# 原料費調整制度に基づく2024年3月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による15円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2023年10月から2023年12月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○2024年3月 検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1ヵ月のご使用量	基本料金 (1ヵ月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2024年2月検針分	2024年3月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50円	212.86円	216.90円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00円	203.39円	207.43円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30円	194.07円	198.11円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2023年10月から2023年12月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	95,660円/トン(10円未満四捨五入)
2023年10月から2023年12月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	93,480円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $95,660 \text{円/トン} \times 0.9748$ $+ 93,480 \text{円/トン} \times 0.0404$	<b>97,030円/トン</b> (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$97,030 \text{円} - 54,690 \text{円} = 42,300 \text{円/トン}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075円
<b>ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1㎡あたり)*</b>	<b>-15円(税込)</b>
2024年3月分検針の調整額(1㎡あたり)	$42,300 \text{円} \times 0.075 \text{円} \div 100 \times 1.10 = 34.89 \text{円}$ (小数点第3位切り捨て) $34.89 \text{円} - 15 \text{円} = 19.89 \text{円(税込)}$
2024年2月分検針の調整額(1㎡あたり)	15.85円(税込)
(3月分)対(2月分)増減(1㎡あたり)	<b>4.04円(税込)</b>

2024年3月分の単位料金を1㎡あたり19.89円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1ヵ月のご使用量	2024年2月分料金	2024年3月分料金	影響額
20㎡	4,958円	5,039円	81円

\*詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/)